

高津同窓生の訃報 2 件

石原靖造

今朝の臨時 ZOOM 会で話の出ました新聞記事 2 編お届けします。

池尾和人氏 (慶応大学名誉教授 高津 23 期 京大)

5 月 7 日日経夕刊 “追想録”

歩こう会で二度ばかりご一緒した事ありますが、気さくな方です。未だ若いのに残念です。




岡藤正弘氏 (伊藤忠商事会長 CEO 高津 20 期 東大)

5 月 17 日 日経夕刊 “あすへの話題”で高津高校が出て来ます。

この欄は毎週一回で半年続きます。

同級生の名メーカー

伊藤忠商事会長CEO 岡藤 正弘



あすへの話題
2021・5・17

昨年、悲しい知らせが届いた。高校の同級生のグループメールから、前田仁君が亡くなったと連絡があった。

母校の大阪・高津高校は私たちの世代は1学年で約550人が在籍した。同級生でも面識のない人は多く、前田君のことも知らなかった。キリンビールでメーカーとして頭角を現していると聞いたのは、ずっと後になってからのことだ。当社と取引があるアサヒビールの人から彼の評判を聞くと、それはもう、すご腕だという。1990年代にはビールの「一番搾り」や発泡酒の「淡麗」で結果を残し、「氷結」ではそれまでおじさんの飲み物だったチューハイで女性客を取り込んだ。その手腕にライバルのアサヒも恐れる存在だったという。

彼はキリンビバレッジ社長となって同社の発展にも尽力した。ただ、詳しい事情は分からないが、わずか3年で同社を後にしたと聞く。その後は亀田製菓に転じ、会う機会があるかなと思っていたところに訃報が飛び込んできた。

彼には聞いてみたかったことがある。消費者の心に訴えるブランディングの妙だ。飲料の世界でことごとく新しい客層を開拓していったアイデアはいつたい、どこから生まれてきたのか。特に気になるのが、彼がある講演で語っていたという「頭で理解することを放棄する」という言葉だ。

私は常々、お客さんの声に耳を傾ける「マーケット・イン」の発想を持って社員に言うが、彼はどんな哲学で「声」に向き合ったのだらうか。同級生の名メーカーはどんな教えを示してくれたらうか。それはついに聞けぬまま。実に心残りだ。